



8月ほけんだよ!

令和1年8月1日発行
梨の花保育園
梨の花レインボールーム

長かった今年の梅雨。ようやく梅雨明けとなり、いよいよ夏本番です。園では、安全に楽しくプール遊びができるよう配慮していきます。ご家庭でも、これから行楽などの計画もあると思います。外出先でも、安全に配慮しながら楽しく元気に夏を乗り切ってください。



プールに入れる? O 入れない? X

症状が治まったあともウイルスが排せつされる病気があり、元気に見えても注意が必要です。プールに入る際の注意点をあげましたので、目安にしてください。なお、「入れるかどうか」は園でのプールあそびの状況を医師に伝えたくうえで、相談してみてください。

- とびひは? Δプールの水ではうつることは少ないが、水ほうやびらんがあるときは悪化しやすいので完全に乾いてからプールに入るようにしましょう。
- 水いぼは? Oでも接触でうつることがあるので、入るときは絆創膏などで保護してください。
- 手足口病は? Δ水疱が乾いていて本人が元気であれば状況により入れます。しかし症状が軽快してからも1か月くらいは、便やだ液からウイルスが排せつされるので注意が必要です。
- ヘルパンギーナは? Δ熱やのどの痛みがなく食欲もあれば状況により入れます。しかし症状が軽快してからも1か月くらいは、便やだ液からウイルスが排せつされるので注意が必要です。
- 頭ジラミは? ✖接触で感染するのでプールは控えましょう。
- プール熱は? ✖感染すると登園停止になり登園には医師の許可証が必要です。伝染性が強くゴーグルやタオルの共有でもうつることがあるので要注意です。
- 流行性結膜炎は? . ✖感染すると登園停止で登園には許可証が必要です。伝染性が強くゴーグルやタオルの共有でうつることがあるので要注意です。
- 滲出性中耳は? . . Δ症状が安定し医師の許可があればOK。でも発熱や耳の痛みがあるときは入れません。
- 急性中耳炎は? . . . ✖高熱、耳の痛みや閉塞感、耳垂れ等の症状があればプールに入れません。
- 外耳炎は? ✖傷が治り外耳の炎症が治まるまでは入れません。幹部の清潔保持のためにも控えます。



気を付けよう! 夏に流行る病気 その2

暑い夏は体力の消耗の激しい時期でもあります。また、プールの水を媒介していろいろな病気が感染しやすく、あっという間に広まることも多いのです。7月号でお伝えした感染症のほかにもこんな感染症が流行るので注意しましょう。

とびひ

原因

虫刺されや湿しんをかきむしったあとに黄色ブドウ球菌などが感染して起こる。症状がどんどん広がっていくことからこの名称で呼ばれる。皮膚が弱いとかかりやすい。

症状

皮膚に水ぶくれができ、破けて赤くむけたような状態になる。発熱することも。

対応

主な治療法は抗生物質の使用だが、衣服を清潔に保つこともたいせつ。患部をガーゼなどで覆って登園するように。また、患部がじくじくしているときは症状が悪化しやすいので、プールは避ける。シャワーを浴びる程度ならOK。

水いぼ

原因

ボックスウイルス群が原因。タオルやビート板の共有、体の接触などで感染する。

症状

粟粒大のいぼが胸や腹、わきの下などにできて広がる。

対応

完治まで半年から1年半程度かかる。自覚症状がなければ治療は不要。肌のバリア機能が低下しているときや、かゆくてかきこわしてしまうようなら、医師と相談のうえ、いぼを取ったり、薬による治療を行うことも。



流行性角結膜炎

原因

目とまぶたの裏側を覆っている結膜にアデノウイルスが感染して起きる炎症。ウイルス性の結膜炎の中でもっとも感染力が強く、プールの水だけでなく、タオルの共有や手指の接触によっても感染する。最近では季節に関係なく発症する傾向。

症状

まぶたのはれや異物感、痛み、充血。目やにで目が開けられなくなったり、発熱や下痢を伴うことも。

対応

完治まで2~3週間かかり、発病から2週間は登園停止。感染予防のため、こまめに手を洗い、タオルの共有は避ける。